

## 平成 30 年産水稻の作柄について

### 1 平成 30 年産水稻の被害状況

#### (生育状況)

本年産の水稻は、田植え（最盛期5/28）以降から初期生育は順調で、6月下旬以降高温・多照に推移したことから、出穂期は平年に比べ3日早く（最盛期8/6）、生育は平年並みであった。出穂期の高温や収穫期の台風による影響が一部見られたものの概ね順調に推移し、登熟・作況指数ともに「平年並み」となった。

（予想収量 542kg/10a、作況指数 99 12月10日現在）

#### (被害の発生状況)

山梨県のほぼ全域で、台風の影響による風水害が発生した。7月下旬から8月中旬の降雨等により常発地を中心にいもち病による被害や、出穂期前後における降雨等の影響により、もみ枯細菌病による被害が発生した。また防護ネット等の対策を講じたものの、山間地を中心に、イノシシやシカ等による食害・踏み倒しの被害が発生した。一部の地域では、カメムシにより不稔実等の被害が発生した。このほか、鳥害や干害が発生したものの、被害は軽微であった。

災害名	災害別割合	被害面積(a)	共済減収量(kg)	地域名
獣害	51.2%	615.5	9,255	身延町、韮崎、白州、富士吉田等の山間地
風水害	38.2%	851.5	6,908	八代、玉穂、明野、高根、富士吉田等
病害	7.0%	135.8	1,263	甲府、田富、大泉、都留等
虫害	1.8%	19.7	332	中富、大月
鳥害	1.8%	32.7	318	甲西、富士吉田、都留、大月
干害	0.0%	3.1	9	櫛形
合計	—	1,658.3	18,085	